

捕食性天敵

リモニカ[®]

リモニカスカブリダニ剤

新世代の切り札登場!



リモニカスカブリダニ



アザミウマ2齢幼虫を捕食



製剤拡大写真

- 比較的低温の環境でも活動し定着
- アザミウマは2齢幼虫、コナジラミは4齢幼虫まで捕食
- スワルスキーより多くの害虫を捕食



捕食性天敵

リモニカ®

リモニカスカブリダニ剤

10入(12,500頭入)

成分:リモニカスカブリダニ…125頭/10ml
サトウダニ、ふすま等
性状:淡褐色粒

特長

寒さに強く、
比較的低温
でも活動

広い捕食範囲と
高い捕食能力

植物上での高い定着性
〔花粉や微小生物を餌に〕
して増殖します。

害虫の発生前から
予防的に使用が可能

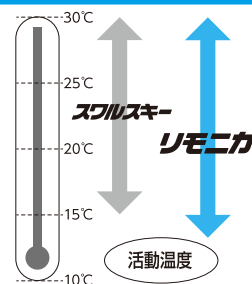
アザミウマ類の 2齢幼虫まで捕食



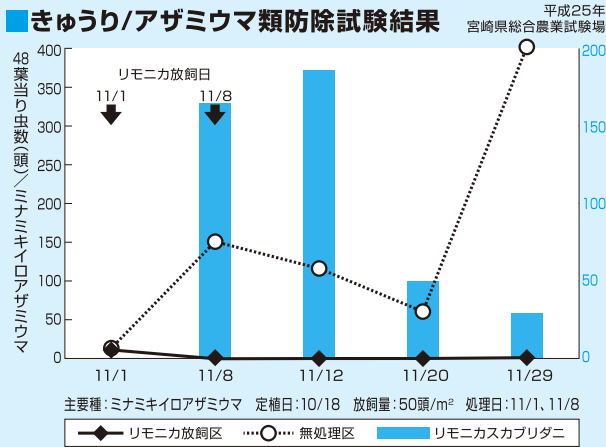
コナジラミ類の 4齢幼虫まで捕食



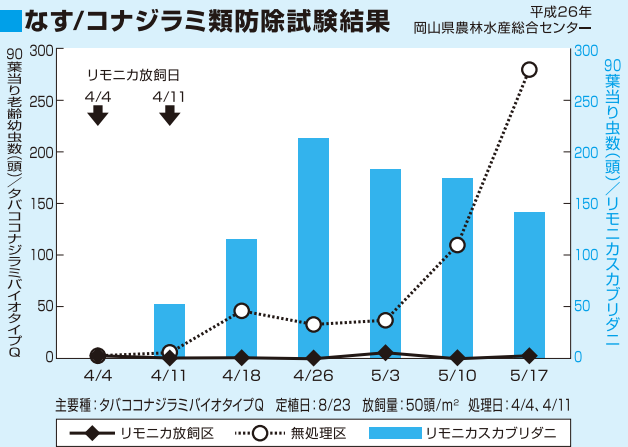
比較的低温でも
定着し、
防除効果を発揮



きゅうり/アザミウマ類防除試験結果



なす/コナジラミ類防除試験結果



適用害虫と使用方法

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	リモニカスカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類 (施設栽培)	アザミウマ類 コナジラミ類	2~4ℓ/10a (約25000~ 50000頭)	発生直前 ~ 発生初期	—	放飼	—

⚠️ 効果・薬害等の注意

- 本剤はアザミウマ類及びコナジラミ類を捕食する天敵であるリモニカスカブリダニを含有する製剤です。
- 容器内でのリモニカスカブリダニの生存日数は短いので、入手後速やかに使用し、使いきってください。
- 容器中でリモニカスカブリダニが偏在していることがあるので、使用の際は容器をゆっくり回転させて均一に混在させたのち、所定量を放飼してください。
- 害虫の密度が高まってからの放飼は十分な効果が得られないので、これらの害虫の発生直前~発生初期に最初の放飼をしてください。

- 有効な天敵密度を保つため、1~2週間間隔で葉上に放飼してください。
- 放飼はできるだけ均一に行うことを原則とするが、害虫の発生にむらがある場合には発生が多いところに重点的に放飼してください。
- リモニカスカブリダニの活動に影響を及ぼすおそれがあるので、本剤の使用期間中に他剤を処理する場合は十分注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

● ラベルをよく読む。 ● 記載以外には使用しない。 ● 小児の手の届く所には置かない。 ● 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理する。

低温条件でも定着し、しっかりと防除!

アリスタライフサイエンス株式会社

〒104-6591 東京都中央区明石町8-1
TEL 03-3547-4415 FAX 03-3547-4695

リモニカ 検索